

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山校		
○保護者評価実施期間	2025年10月20日 ～ 2025年12月29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2025年10月14日 ～ 2025年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	いろいろな指導員と関われるように担当制ではなく、指導員全員でお子様と関われるようにしているところ。	お子様がいろいろな指導員と関わるができるため、事業所全体でサポートをしています。また、療育内容や困ったときなどにアドバイスももらいやすく、指導員の負担軽減にもなっております。	いろいろな研修への参加や近隣のグループ校舎などと交流を図ることで知識などのアップグレードを行っています。
2	個別支援による個々へのオーダーメイドの計画を立て、その子にあった療育の実施を行っております。	日ごろから指導員同士でお子様たちの情報を共有していき、出来そうなことや強化していきたいことなどを話し合っています。	研修や事例検討などで得た知識や情報を取り込んでいき、指導員や児発管のレベルアップを図っています。
3	月に1度の外部参加のイベントの実施。	月に1度「ちびっこきらり広場」としてこちらに通われていないお子様でも参加が出来るイベントを実施しております。	近隣の保育所や小児科などの病院、企業へチラシを配布しに行き、児童発達支援についてより周知できるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がないことで、療育を受けたくても通所が難しいところ。	送迎がないことでこちらでのご利用をためらう方や利用を見送る方、やむを得ず欠席される方が見受けられます。	送迎がない分、ひとつ一つの支援を大切にしていき、より良い療育を実施していきます。また、都度それらの改善も行っていきます。
2	校舎の空間の狭さ。	大きな運動や遊びを行う際に狭く感じてしまうことがあります。	可能な限り空間を広くするため、ホワイトボードや机などの用品をどけて活動できるように工夫をしています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 4

回収数 2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	1	0	小さい気がします。	可能な限り活動スペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	0	1		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	0	1	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	0	0	0	2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	0	0	1	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	1	0		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	0	0	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	0	1	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	0	2		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	0	0	0	2	数日前にLINE登録したばかりなので分かりません。	今後も様々な予定や活動内容をLINEやHPなどで発信を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	0	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0	0	0	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	0	1	1	0	今日はこんなことをしました。と報告していただくのですが、何ができるようになって何ができないのか、それに対して親はどうしたらいいのかを知りたいです。	フィードバックの際に取り組んだ支援内容をより詳しくお伝えいたします。その際に家庭での対応や接し方も助言いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山校				
		公表日 2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お子様の状態に合わせて臨機応変に個室や大部屋を使っています。限られたスペースではありますが、個々の特性に応じて、パーティションで仕切りながら刺激を調整しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		どの時間帯においても、利用者様と職員がマンツーマンで支援できる環境を整えております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	玄関前に段差はありますが、身体的なハンディキャップを持つ利用様がご利用されとなった時には、スロープの設置等を検討予定です。事業所内については段差はなく、支援スペースと職員室の大きく2フロアに分けています。	バリアフリーが必要になった際には、検討します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		衛生面に関しては毎年、社内研修や集団研修で最新の情報を取り入れております。活動空間は個別のニーズに合わせ、パーティションで個室空間を作るなど、療育の目的に応じて変化させています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋になるようにパーティションで変えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○	PDCAサイクルを実施しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務改善に繋がっています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングを実施し、業務改善に繋がっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者により外部評価は行っておりませんが、社内で内部監査をしています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修を受講する機会が多くあり、法人内でも研修を開催する機会が確保されているため、参加することができています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		日頃の支援の内容やその結果なども職員間で共有しており利用者様にとって必要となる力の向上を目的とした計画に沿うプログラムを作成し、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個別療育という事業所の特性を活かし、保護者様、お子様、事業所の3視点で目標設定を立てております。	今後も具体的な支援継続してできるようにしていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		複数の指導員が支援に携わっていることも多いため、モニタリング作成時に内容を共有・相談したり、児発管とお話する際にも内容を共有し、原案作成時に全員で確認することを通して、お子様にとって必要であると考えられる内容で取り入れるよう検討を進めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		日頃の支援の内容やその結果なども職員間で共有しており利用者様にとって必要となる力の向上を目的とした計画に沿うプログラムを作成し、公表しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		支援の中でアセスメントをとり、児発管と一緒に利用者様の様子を振り返り、他の指導員とともに様子を共有する中で分析したアセスメントを実施し、計画の作成に努めております。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」は5領域の視点で支援項目を設定し、「家族支援」「移行支援」については、お子様とご家族様の状況を多様な観点から確認・分析し関係機関と共有できるよう努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		支援の引継ぎを実施し、お子様の状態と支援方法について具体的に話し合っています。また朝終礼にてお子様の状態を職員全体で把握しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援の引継ぎの際、こどもの状態に合わせて支援方法の見直しを行っています。積み重ねが必要な場合、一定期間同じ活動をすることもありますが、同じねらいで取り組むとしてもお子様にとって楽しいと感じられる活動を用意できるように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用児が2人になる際には、集団活動を行うことができます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	朝礼・終礼を行い、利用者様情報や支援の役割分担など、必要な時には適宜、ミーティングを行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	朝礼・終礼を行い、利用者様情報や支援の役割分担など、必要な時には適宜ミーティングを行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		株式会社クラ・ゼミとして内監査を毎年行っております。また、月末にも必ずセルフチェックを行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画更新や変更時には面談を行い、計画の評価、現状の共有を行い、見直しに繋げています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参加したり、共有しております。	参加できない時には、情報を確認し共有しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		当事業所の見学はいつでも可能にし、利用者様の様子が知れるようにしております。	連携が少ないため、必要に応じて行っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	移行が必要なお子様には、情報提供をしております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	保護者のニーズに合わせて通園先の園を交えて就学先との連携に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		機会がありません。	必要であれば行っています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	活動する機会がありません。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後に毎回、フィードバックを行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	療育の内容によっては、保護者様同伴で支援に参加していただき、お子様との関わり方や声掛けの方法、ご家庭での在り方などアドバイスさせていただいております。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		初回契約時に利用者様の状況に合わせた具体的な金額を用いながら説明させていただいております。また、イレギュラーがあった際にも、納得いただける説明を心掛けております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		初回契約時に利用者様の状況に合わせた具体的な金額を用いながら説明させていただいております。また、イレギュラーがあった際にも、納得いただける説明を心掛けております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		説明をして同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族支援、家庭連携を行い、サポートさせていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	父母の会の活動がありません。	今後、ご希望があれば実施していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		営業時間帯はいつでも対応できるようにしております。また校舎入口に苦情窓口を掲示しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSや当社HPを活用し、事業所の様子や行事予定などの告知を行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのロッカーを使用し、個人情報の保護に努めております。また、社内研修において職員の意識向上を図っております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個に応じた対応を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		当事業所の見学はいつでも可能にし、利用者様の様子が知れるようにしております。	当事業所の見学はいつでも可能にし、利用者様の様子が知れるようにしております。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは事業所入口に置き、常時閲覧可能にしてあります。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月防災訓練を1回以上実施しております。また年間でスケジュールを組み、利用者様と一緒に訓練を実施することもあります。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご契約時に確認させていただいております。また日々のフィードバックなどから定期的に把握を行っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		ご契約時に確認させていただいております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		周知しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内だけでなく、ブロック内の校舎でヒヤリハットを共有し、事故防止に努めております。	

	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年外部の研修を受講しております。さらに社内でも独自の研修を行っております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束について重要事項説明書や運営規定、個別支援計画にも明記させていただいております。社内でもマニュアルを策定しております。	